

2010年第16回
ショパン国際ピアノコンクール
ディプロマ賞受賞

岩崎 洵奈

ピアノリサイタル

2011

11.13 [日] 19:00開演
(18:30開場)

仙台市青年文化センター
シアターホール

入場料:2,000円(全席自由)

チケット一般発売日:9/15(木)10:00~
※本誌発行の人は先に優先ください。

プレイガイド

- チケットぴあ
0570-02-9999(予約:150-819)
- ローソンチケット
0570-084-002(予約:23596)
- 藤崎 ○三越 ○ヤマハ ○カワイ
各プレイガイド

お問い合わせ
HAL PLANNING 
022-262-1682(平日10:00~18:00)

主催
岩崎洵奈ピアノリサイタル実行委員会

後援
公益財団法人
仙台フィルハーモニー管弦楽団
河北新報社

共演
神谷未穂
仙台フィルハーモニー管弦楽団
コンサートマスター

井野邊大輔
NHK交響楽団
ヴァイオリン首席代行奏者・特別出演

原田哲男
仙台フィルハーモニー管弦楽団
首席チェロ奏者

村上満志
仙台フィルハーモニー管弦楽団
首席コントラバス奏者

プログラム

[1部 ソロ Solo]
ショパン F.Chopin
エチュード 変ト長調 作品10-5「黒鍵」

バラード 第4番 へ短調 作品52

アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ
変ホ長調 作品22

リスト F.Liszt
スペイン狂詩曲 S.254 他

[2部 室内楽 Chamber Music]
マーラー G.Mahler
ピアノ四重奏曲 イ短調「断章」(1876)

シューベルト F.Schubert
ピアノ五重奏曲 イ長調 D.667「罇」

※プログラムは一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

JUNNA IWASAKI

Piano Recital

岩崎洵奈(ピアノ) Junna Iwasaki

愛知県岡崎市出身、名古屋市立菊里高等学校音楽科、東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業。

現在、ウィーン国立音楽大学ピアノ科にてヤン・イラー・チュク氏に師事。室内楽、伴奏法をマインハルト・プリンツ、マリアレーナ・フェルナンデス各氏に師事。

2005.06.08年ウィーン国際夏期セミナー・ディビラー・コンクール第1位、モーツァルト賞(06)受賞。2008年第4回ウィーン国立音楽大学ディビラー・コンクール第2位。2010年ヴァル・ティド・ネ国際音楽コンクール(イタリア)第5位、シュリッツピアノアカデミー国際コンクール(ドイツ)第3位、ライプツィヒ・シューマンハウス賞、ヘッセンムジークアカデミー賞受賞、ロータリークラブ奨学金授与。2010年第16回ショパン国際ピアノコンクール(ワルシャワ)ディプロマ賞受賞。2011年トレドネス国際音楽フォーラムフェスティバル(マドリッド)に招待されピアノ協奏曲1番(ショパン)を演奏。平成21年度文化庁新進芸術家海外研修生。2012年の「シャネル・ビッグマリオンドイズ・アーティスト」に選出。これまでに藤井博子、笠岡春子、青柳晋、田部京子、チョモンカン、フェルナンド・ブチョール、海老影子、アキレス・デレーヴィーニエの各氏に師事。



岩崎洵奈

神谷未穂(ヴァイオリン) Miho Kamiya

桐朋学園、ハノーファー音楽大学およびパリ国立高等音楽院を卒業。北九州国際音楽祭TOTOKUFOPライズ室内楽第一位、ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリンコンクールにてバガニーニ賞、オーストリア室内楽音楽祭賞を受賞。江藤俊哉、江藤アンジェラ、徳永二男、C.アルテンブルガー、J.コリアー、J.カントロフの各氏に師事。仙台フィルコンサートマスターのほか、従姉の磯崎里子とのユニット「デュオ・プリマ」でも活躍中。



神谷未穂

井野邊大輔(ヴィオラ・特別出演) Daisuke Inobe

桐朋学園大学より洗足学園大学に編入、ヴィオラに転向後卒業。1987年藤科高原音楽祭賞受賞。在学中より仙台フィルハーモニー管弦楽団契約首席奏者を務めた後、1991年NHK交響楽団に入団。第68回日本音楽コンクール作曲部門での演奏に対し委員会特別賞受賞。これまでにサイトウキネンオーケストラ、霧島国際音楽祭等数々の音楽祭に出演、海外の演奏家との共演も多い。特に室内楽では共演した演奏家より厚い信頼を受け続けている。また仙台フィルをはじめ新日本フィル、九州交響楽団など国内オーケストラの客演首席奏者としても活躍。ヴァイオリンを稲垣昌子、石井志都子、ヴィオラを岡田伸夫の各氏に師事。NHK交響楽団首席代行奏者。洗足学園大学及び大学院講



井野邊大輔

原田哲男(チェロ) Tetsuo Harada

1970年生まれ。桐朋学園在学中の1990年に藤科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後、1994年から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部に学ぶ。1997年からは米田ダラスの南メソジスト大学より奨学金を得て、同大学アーティストディプロマコースに入学。同年夏、「チェロアンサンブル・サイトウ」のメンバーとして日本国内、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンGRESSに出演。1999年仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者に就任。定期公演にソリストとしても出演している。第4回ピハールチェロコンクール第3位。2003年1月から仙台フィルメンバーによるセレネ・張楽四重奏団としても活躍。松尾音楽助成受賞。また、原村室内楽セミナーにて「緑の風音楽賞」を受賞。第7回、第8回宮崎国際音楽祭、2004年サイトウキネンフェスティバル出演。森川諒一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洵の各氏に師事。



原田哲男

村上満志(コントラバス) Mitsushi Murakami

高槻大学教育学部特設音楽家、東京芸術大学器楽科卒業。1974年在学中に東京都交響楽団に入団。1975年ドイツ政府給費留学生として渡欧、元ベルリンフィル首席コントラバス奏者のライナー・ツェバロツ教授の下で研鑽を積み、帰国後はオーケストラを中心に、室内楽やソロにおいても積極的な演奏活動を行う。1985年東京都交響楽団首席奏者に就任、退団する2001年まで務める。室内楽では安倍注子女士主催の東京五重奏団に参加、数多くの現代作品を初演。これまでに東京都交響楽団、広島交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協奏曲を共演。現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者を努める傍ら、昭和音楽大学において後進の指導にあたる。



村上満志